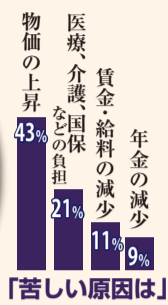
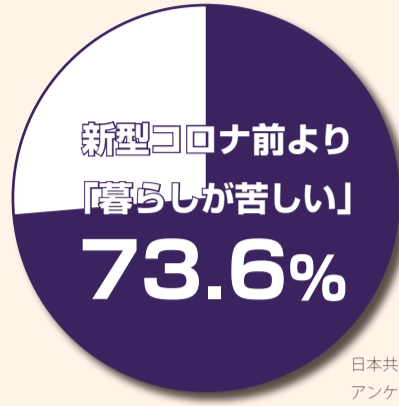


4月の選択
日本共産党
4→5人で

くらし応援第一の狛江に



日本共産党狛江市議団の市政アンケート結果より（回答数 633人）

「物価があがりスーパーで安売りしている弁当しか買うことができない(20代・正社員)」「給料変わらず、諸物価上昇、毎月の医療、介護料の負担が重い。赤字をいつまで持ちこたえられるか不安(60代・契約社員)」

日本共産党
市議会議員

宮坂良子



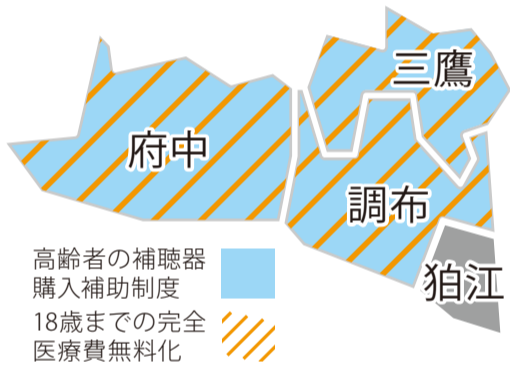
40年ぶりの物価高騰の中、悲痛な市民の声が相次いでよせられています。この声を無視して岸田政権と自民党、公明党がすすめる43兆円もの大軍拡・大增税に怒りが広がっています。こんな時こそ、狛江市は市民のくらし応援を守るべきです。

多摩地域初「第三子から無償化」実現 さらに前へ

学校給食無償化はすべての子どもに

いま、全国でも都内でも、子育て支援対策として学校給食費の無償化が進められ、おとなり世田谷区もふみだしました。日本共産党狛江市議団は2018年3月からくり返し給食費無償化を

要望。市民のみなさんの声におされ、多摩地域ではじめて、2023年度から第三子の学校給食費の無償化がスタートします(140世帯が対象)。さらに拡充し、完全無償化をめざします。



周辺自治体で次々 ただちに狛江でも

18歳までの医療費の完全無償化の実現を

都の事業として、制限つきの18歳までの医療費の無償化が実現。近隣市は独自に上乗せして所得制限をなくしています。狛江市でも完全無償化をめざします。

高齢者の補聴器購入費の補助制度の導入を

高齢者のみなさんから、補聴器が高すぎて買えないという声があがっています。東京都の補助金を活用して、市に補聴器の購入費助成制度をつくらせます。

防犯・防災 命をまもる

- 安心安全パトロールの強化
- 街路灯の増設
- 豪雨・地震災害対策の強化
- 狛江調布保健所の復活を

新型コロナ累計感染者数は、狛江市が人口当たりで多摩地域最多でした。狛江市含む6市104万人という保健所管轄を見直し、狛江調布保健所の復活で、感染症対策強化を。

市民の声を市政へ

- 国保税・介護保険料の負担を軽減
- 市民・事業者へ物価高騰対応の支援を
- 学童クラブの増設
- 教職員の増員・30人学級実現
- 人権条例生かし、ジェンダー平等実現へ
- 小中学校のトイレに生理用品常備
- ひとり親家庭・若者への家賃補助制度
- 気候危機打開へとりくみ促進
- 中央図書館は現在地で充実を

改善してきた市の財政 今こそ暮らしへ

くらしを守りながら、土地開発公社の借金48億円を含む100億円余の借金を返済した矢野市政。以来、長年の努力が実って、市民のために使える財政調整基金は20億円にも増えました。市の財政力は、市民のくらし支援に使わせましょう。

23億円も黒字に
(2021年度)

財政調整基金 20億円超

大軍拡・大增税 岸田政権と自民党・公明党の暴走にノーを



日本共産党
市議会議員

みやさか・よしこ
宮坂良子

生活なんでも相談1300件
身近な相談相手

「切実な願いに少しでも応えたい」の思いで、毎月「生活なんでも相談」にとりくんできました。平和を守り、子育ても仕事も老後も安心して暮らせる市政をめざし、全力でがんばります。

【略歴】1950年新潟県生まれ ●07年から市議会議員(4期)。現在市議団長、社会常任委員会副委員長 ●渋谷代官山郵便局勤務、新日本婦人の会中央委員、狛江4小・3中PTA学級委員、市議会副議長など歴任 ●家族は夫と長女

- <実現しました>
 - 「こまほっと相談室」の設置
 - 八幡・御台橋通りT字路の歩道拡幅
- <実現をめざします>
 - 年金で入居できる特養の増設
 - パートナーシップ制度導入
- <活動地域>
 - 和泉本町3・4丁目、西野川全域